



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月30日

上場会社名 協栄産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6973 URL <http://www.kyoei.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 水谷 廣司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員

(氏名) 板垣 政昭

TEL 03-3481-2111

四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	14,647	2.6	△126	—	△167	—	△188	—
24年3月期第1四半期	14,280	△13.1	△288	—	△314	—	△316	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △326百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △405百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△6.17	—
24年3月期第1四半期	△10.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	35,358	12,303	34.8
24年3月期	36,832	12,690	34.5

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 12,303百万円 24年3月期 12,690百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
25年3月期	—				
25年3月期(予想)		2.00	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	32,000	3.8	400	304.8	330	—	270	740.1	8.85
通期	69,000	9.8	1,100	173.9	950	312.4	670	462.1	21.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	31,935,458 株	24年3月期	31,935,458 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	1,421,808 株	24年3月期	1,421,043 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	30,513,568 株	24年3月期1Q	30,516,062 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
5. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、大震災の復興需要など内需が牽引し緩やかながらも回復を続けております。しかしながら欧州諸国の債務危機、中国や米国経済の減速懸念など、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの関連するエレクトロニクス業界では、円高の長期化、新興国の台頭等により事業変革を迫られております。

このような情勢の下で、当社及び当社の子会社（以下当社グループ）が持つそれぞれの機能の融合と、グループ間及び部門間相互の連携により、顧客ニーズに対する速やかな対応や積極的な営業活動の推進を図るとともに、諸経費の削減など収益改善に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は146億4千7百万円、前年同期に比べて2.6%の増収、営業損失は1億2千6百万円（前年同期営業損失2億8千8百万円）、経常損失は1億6千7百万円（前年同期経常損失3億1千4百万円）、四半期純損失は1億8千8百万円（前年同期四半期純損失3億1千6百万円）という成績になりました。

セグメントの概況は以下のとおりです。

(商事部門)

- ・売上高 115億3千7百万円（前年同期比2.2%減）
- ・営業利益 1億7百万円（前年同期比48.5%減）

商事部門においては、前年同期と比較いたしますと、一部で震災による供給不足の解消による売上の増加等はありませんでしたが、全般に受注環境は厳しい状況で推移いたしました。

そのような中、海外子会社は比較的堅調に推移いたしました。

事業別の詳細は以下のとおりです。

①半導体デバイス事業

半導体分野では、自動車関連は震災の影響に対する反動増もあり前年同期比で好調となりました。白物家電関連は国内エアコン向けが好調となりましたが、中国、欧州市場向けが低調となりました。アミューズメント、産業機関連は低調となりました。

電子デバイス分野では、産業用向け表示デバイス、イメージセンサ等や、スマートフォン、車載向けの希土類磁石が順調に推移いたしました。その他の電子部品も堅調に推移いたしました。

②電子材料事業

電子材料事業は、スマートフォン、車載関連向けは堅調に推移いたしました。薄型TV、パソコン向けコネクタや半導体リードフレーム等が低調となりました。

③FAシステム事業

産業メカトロニクス分野では、放電加工機、レーザ加工機などの設備機械は第1四半期は商談の先送り等があり低調となりました。また、NC装置も主要ユーザーからの受注が伸び悩み低調に推移いたしました。

FA機器分野でも、エレクトロニクス関連の装置メーカーからの受注が伸び悩み低調となりました。

(IT部門)

- ・売上高 11億3百万円（前年同期比22.3%増）
- ・営業損失 8千6百万円（前年同期営業損失1億7千7百万円）

IT部門においては、低調であった前年同期と比較いたしますと、全般に受注が回復傾向で推移いたしました。なお、IT部門では、9月及び3月に売上及び利益の計上が集中する傾向にあります。これは従来からの業界傾向であります。

事業別の詳細は以下のとおりです。

①ビジネスソリューション事業

建設業関連システムは、大手ユーザーからの受注により好調に推移いたしました。

エンドユーザー向けシステム開発は主要顧客の開発が前期で一段落したことにより低調となりました。

受託ソフト開発は、電力関連向けが大震災の影響で開発規模は縮小しておりますが、前年同期と比較して、受注は上向きで推移いたしました。

②エンベデッドシステム事業

エンベデッドシステム系は、カーナビ開発の受注が順調に推移いたしました。

また、専用装置システム開発や通信制御装置の販売は、低調であった前期からは回復傾向で推移いたしました。

監視制御システム系は、主要顧客の内製化等の影響で苦戦いたしました。

③IC設計事業

IC設計事業は、当社の得意とするアナログ技術をベースに新規顧客の開拓と新規分野への進出を図りましたが、業界を取り巻く環境は厳しく、安定した受注を確保するに至りませんでした。

(製造部門)

- ・売上高 20億1千2百万円 (前年同期比26.5%増)
- ・営業利益 1億3千7百万円 (前年同期営業損失6百万円)

製造部門においては、前第4四半期に続き、受注は好調に推移いたしました。特に子会社の福島協栄株式会社が好調となり損益の改善に大きく貢献いたしました。

プリント配線板事業

相模原工場においては、車載向けメタルコア基板が震災の影響に対する反動増もあり前年同期と比べ受注が大きく伸張しました。またモジュール基板の受注も精密機器やOA機器向けに伸張いたしました。

福島協栄株式会社においてもアミューズメント向け及び車載向けを中心に受注が好調に推移し、特に前年同期と比較すると大きく伸張いたしました。

両工場の受注が好調に推移したことにより、損益は大きく改善されました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて14億7千4百万円減少し、353億5千8百万円となりました。

- ・流動資産は、現金及び預金4億7百万円の減少、受取手形及び売掛金6億3千1百万円の減少、商品及び製品4億3千5百万円の減少等により、15億8千1百万円減少し、294億2千7百万円となりました。
- ・固定資産は、繰延税金資産2億1千4百万円の増加等により、1億6百万円増加し、59億3千万円となりました。
- ・流動負債は、支払手形及び買掛金4億6千6百万円の減少、賞与引当金1億2千6百万円の減少等により、7億8千3百万円減少し、200億1千6百万円となりました。
- ・固定負債は、長期借入金2億5千万円の減少等により、3億3百万円減少し、30億3千8百万円となりました。

この結果、純資産は、3億8千7百万円減少し、123億3百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の34.5%から0.3ポイント増加し、34.8%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点では平成24年5月11日に公表いたしました数値から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,855,086	5,447,947
受取手形及び売掛金	17,611,431	16,980,114
電子記録債権	79,167	117,653
商品及び製品	5,763,914	5,328,043
仕掛品	768,643	858,310
原材料及び貯蔵品	170,453	168,034
繰延税金資産	551,846	407,286
その他	220,691	132,845
貸倒引当金	△12,915	△13,033
流動資産合計	31,008,319	29,427,202
固定資産		
有形固定資産	2,647,692	2,592,169
無形固定資産	233,541	225,918
投資その他の資産		
投資有価証券	1,902,826	1,847,920
繰延税金資産	79,063	293,557
その他	1,074,065	1,084,045
貸倒引当金	△112,632	△112,632
投資その他の資産合計	2,943,322	3,112,890
固定資産合計	5,824,556	5,930,978
資産合計	36,832,876	35,358,181
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,875,068	12,408,129
短期借入金	2,888,672	2,866,315
1年内返済予定の長期借入金	3,370,000	3,265,000
未払法人税等	77,440	26,642
賞与引当金	258,796	132,565
工事損失引当金	117	1,130
その他	1,329,813	1,316,837
流動負債合計	20,799,909	20,016,620
固定負債		
長期借入金	2,000,000	1,750,000
繰延税金負債	338	326
退職給付引当金	654,160	630,525
役員退職慰労引当金	204,750	209,000
その他	482,755	448,228
固定負債合計	3,342,003	3,038,081
負債合計	24,141,913	23,054,701

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 6 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3, 161, 819	3, 161, 819
資本剰余金	3, 120, 470	3, 120, 349
利益剰余金	6, 908, 983	6, 659, 765
自己株式	△416, 477	△416, 465
株主資本合計	12, 774, 795	12, 525, 468
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	304, 590	187, 524
為替換算調整勘定	△388, 423	△409, 513
その他の包括利益累計額合計	△83, 832	△221, 988
純資産合計	12, 690, 962	12, 303, 479
負債純資産合計	36, 832, 876	35, 358, 181

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	14,280,913	14,647,839
売上原価	12,962,452	13,197,929
売上総利益	1,318,461	1,449,910
販売費及び一般管理費	1,607,371	1,575,934
営業損失(△)	△288,910	△126,024
営業外収益		
受取利息	391	400
受取配当金	22,646	19,236
その他	12,279	9,947
営業外収益合計	35,317	29,584
営業外費用		
支払利息	40,226	39,922
為替差損	3,495	12,109
債権売却損	6,850	7,854
その他	10,607	11,481
営業外費用合計	61,179	71,367
経常損失(△)	△314,772	△167,807
特別利益		
固定資産売却益	1,131	—
特別利益合計	1,131	—
特別損失		
固定資産除却損	273	30
特別損失合計	273	30
税金等調整前四半期純損失(△)	△313,914	△167,837
法人税、住民税及び事業税	14,411	25,458
法人税等調整額	△11,599	△5,106
法人税等合計	2,811	20,351
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△316,726	△188,189
四半期純損失(△)	△316,726	△188,189

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△316,726	△188,189
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△50,875	△117,066
繰延ヘッジ損益	△16,417	—
為替換算調整勘定	△21,671	△21,089
その他の包括利益合計	△88,964	△138,156
四半期包括利益	△405,690	△326,345
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△405,690	△326,345

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	商事部門	I T 部門	製造部門	合計
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	11,798,750	891,428	1,590,734	14,280,913
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,412	11,589	981	14,983
計	11,801,163	903,017	1,591,715	14,295,896
セグメント利益又は損失(△)	208,492	△177,910	△6,123	24,457

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	24,457
全社費用(注)	△313,367
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△288,910

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			
	商事部門	I T 部門	製造部門	合計
売上高				
（1）外部顧客への売上高	11,535,327	1,100,020	2,012,490	14,647,839
（2）セグメント間の内部売上高又は振替高	2,213	3,930	255	6,399
計	11,537,540	1,103,950	2,012,746	14,654,238
セグメント利益又は損失（△）	107,431	△86,845	137,233	157,819

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	157,819
全社費用（注）	△283,843
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△126,024

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。